

## 県がコンテスト初開催

# 地元魅力短編映画に

## 奥田瑛二さん 審査委員長

県内から優れた映像クリエイターを輩出しようと、県は本県を撮影地や舞台とした短編映画のコンテストを初めて開催する。企画審査を通過した10組に制作資金100万円などを支援し、本県の魅力を反映した作品を来年2月の上映会で披露してもらう。参加を希望するクリエイターから作品の企画を募集している。

コンテストを通じて、本県口ケ地の認知度向上や将来的なクリエイター集積を目指す。優れた企画を考案した参加者10組に県内をロケ地とした物語性のある短編映画(3〜10分程度)を制作してもらう。テーマ設定は自由。制作には、撮影機材や宿泊費用の支援、ロケ地の紹介にコーディネーターが伴走するなどとしてサポートする。

審査委員長は俳優・映画監督の奥田瑛二さん、審査委員に演出家・映像監督の野沢クニオさん、起業家・映像作家・アートディレクターの高野由さんが務める。完成作品の上映会で大賞を決める。

県は2021年と22年度、映像作家を募集してプロモーション動画(PV)を制作してもらい、本県のロケ地としての魅力を発信するコンテストを開いた。本年度は、クリエイター育成事業に約3千万円を予算計上し、コンテストは本県にクリエイター需要を呼び込む「クリエイティブの発信源」実現に向けた取り組みの一環で開催する。

県eスポーツ・クリエイティブ推進課は「群馬を拠点に活動して映像制作に適した環境を見てもらい、将来的なクリエイターの集積と関係構築につなげたい。本県から世界へ飛び立つクリエイターを輩出するきっかけになるような作品に期待したい」とした。



審査委員長を務める奥田さん

企画応募QRコードは9月2日正午まで。対象は18歳以上で、ディレクターとして商業作品を作ったことがないことなどが条件。企画と面談の審査を経て、同月中旬に10組を決定する。



企画応募QRコードは9月2日正午まで。対象は18歳以上で、ディレクター

として商業作品を作ったことがないことなどが条件。企画と面談の審査を経て、同月中旬に10組を決定する。

(茂木勇樹)